

【報道関係各位】

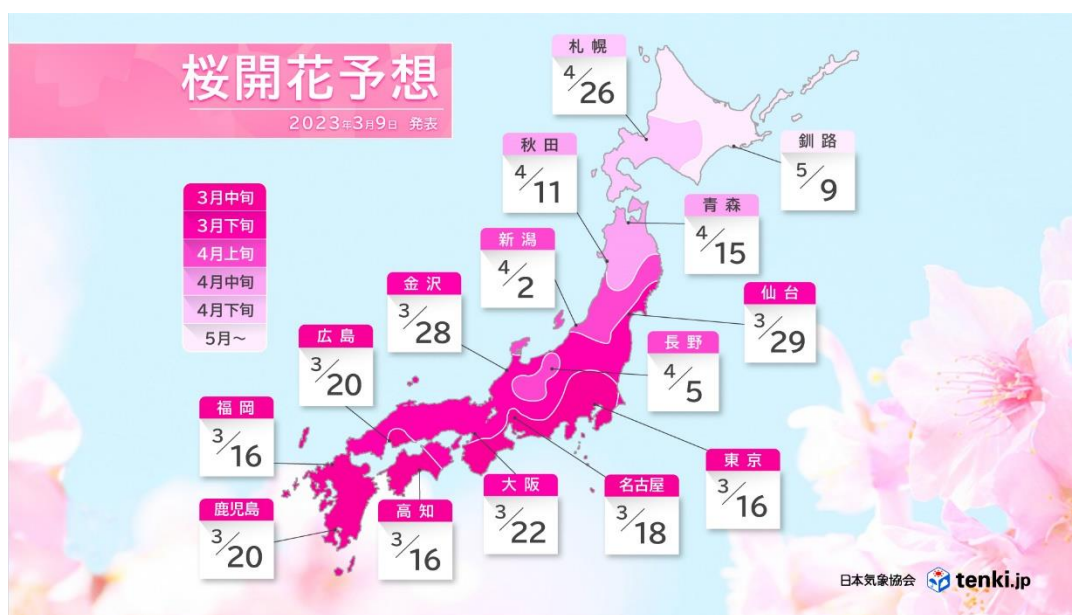
2023年3月9日
一般財団法人 日本気象協会

2023年桜開花予想（第4回）

季節先取りの暖かさで開花早まる 開花トップは東京・高知・福岡で16日

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、日本全国84地点の桜〔ソメイヨシノ ほか〕の開花予想（第4回）を、2023年3月9日（木）に発表します。

開花予想前線図



開花・満開予想日(主な地点)

地点	開花 予想日と平年比			平年開花日		昨年開花日		満開 予想日と平年比		平年満開日		昨年満開日		
	予想日	平年比	早遅	平年	昨年	平年	昨年	予想日	平年比	早遅	平年	昨年	平年	昨年
鹿児島市	3/20	早い		3/26	3/20	3/30	早い	4/5	早い		4/5	4/1		
福岡市	3/16	早い		3/22	3/17	3/24	かなり早い	3/31	3/27		3/31	3/27		
高知市	3/16	早い		3/22	3/19	3/24	早い	3/30	3/27		3/30	3/27		
広島市	3/20	早い		3/25	3/21	3/28	早い	4/3	3/29		4/3	3/29		
大阪市	3/22	早い		3/27	3/23	3/30	早い	4/4	3/30		4/4	3/30		
名古屋市	3/18	早い		3/24	3/22	3/27	早い	4/2	3/30		4/2	3/30		
千代田区	3/16	かなり早い		3/24	3/20	3/24	かなり早い	3/31	3/27		3/31	3/27		
長野市	4/5	早い		4/11	4/9	4/10	早い	4/16	4/11		4/16	4/11		
新潟市	4/2	早い		4/8	4/8	4/6	かなり早い	4/13	4/11		4/13	4/11		
金沢市	3/28	早い		4/3	3/30	4/1	かなり早い	4/8	4/5		4/8	4/5		
仙台市	3/29	かなり早い		4/8	4/8	4/4	かなり早い	4/13	4/11		4/13	4/11		
秋田市	4/11	早い		4/17	4/12	4/17	早い	4/22	4/16		4/22	4/16		
青森市	4/15	かなり早い		4/22	4/16	4/20	早い	4/26	4/20		4/26	4/20		
札幌市	4/26	早い		5/1	4/23	4/30	早い	5/6	4/25		5/6	4/25		
釧路市※	5/9	かなり早い		5/16	5/8	5/12	かなり早い	5/19	5/10		5/19	5/10		

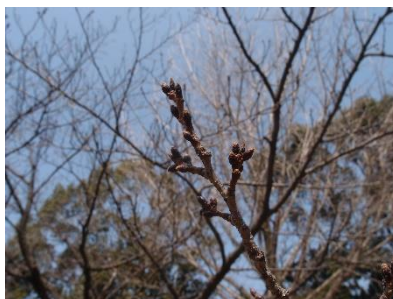
※釧路市はエゾヤマザクラの予想

桜開花・満開予想
2023

2023年
3月9日 発表

日本気象協会
tenki.jp

桜の花芽の様子



福岡の標本木（2023年3月7日撮影）
16日開花の予想ですが、7日時点ではまだつぼみは固そうです。

開花と満開の傾向

3月に入り、全国的に気温が高く推移しています。特に、ここ数日は九州から東北にかけて、最高気温が20度前後の春の陽気となっており、今後も平年より気温が高い状態が続く見込みです。このため、開花、満開ともに平年より早いところが多いでしょう。

今年の開花は、3月16日に東京と福岡、高知からスタートするでしょう。17日には横浜、宮崎など、18日には名古屋、熊谷などで開花する見込みです。3月末までに九州から関東にかけて広く開花し、北陸や長野、東北の一部地域でも3月中に開花するところがあるでしょう。桜前線は4月下旬に津軽海峡を渡り、4月24日に函館、26日に札幌で開花する見込みです。

3月中は高温傾向が継続する見込みのため、満開日も全国的に平年より早くなるでしょう。3月下旬には九州から関東の広い範囲と、北陸や長野、東北の一部で満開となり、東京では3月24日に満開となる見込みです。関東や北陸、東北では、平年より10日前後早く満開を迎える地点がありそうです。函館や札幌では、4月下旬に満開を迎えるでしょう。

この冬(12月～2月)は、たびたび強い寒気が流れ込みました。全国的に厳しい寒さの日も多く、桜の花芽の休眠打破※は順調に行われたとみられます。3月に入り、1日には関東地方で「春一番」が吹くなど、春の訪れを感じさせる陽気が続いています。特に、ここ数日の季節を先取りするような暖かさは、桜の早期開花を後押しするでしょう。

※休眠打破:前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

全84地点の桜の開花予想日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじえーぴー)』桜の開花予想ページ(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて公開しています。

【言葉の説明】

平年:1991～2020年の平均値

かなり早い	:平年よりも7日以上早い
早い	:平年よりも3日から6日早い
平年並	:平年との差が2日以内
遅い	:平年よりも3日から6日遅い
かなり遅い	:平年よりも7日以上遅い

以上



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1: 以下の日程を予定しています。1 月、2 月中は開花予想日のみを発表し、3 月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第 1 回 1 月 26 日 (木)	第 2 回 2 月 16 日 (木)	第 3 回 3 月 2 日 (木)	第 4 回 3 月 9 日 (木)
第 5 回 3 月 16 日 (木)	第 6 回 3 月 23 日 (木)	第 7 回 3 月 30 日 (木)	第 8 回 4 月 13 日 (木)
第 9 回 4 月 27 日 (木)			

Q2: 開花日・満開日の基準は？

A2: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で 5~6 輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で 80% 以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3: 予想する地点数は？

A3: 1 月、2 月中は 49 地点、3 月以降は全国で 84 地点を予定しています。予想地点 84 地点は、各地気象台が観測する標本木 53 地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる 31 地点となります。

*当初は 89 地点の発表を予定しておりましたが、検討の結果、84 地点に変更となりました。

Q4: 日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4: 花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は 2007 年から桜の開花予想を実施しており、今年で 17 年目の取り組みです。

Q5: 開花予想に使うデータは？

A5: 以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。